生産性向上支援訓練オープンコースのご案内 ㉚

～ムダ・停滞をなくし、工場の流れを変える！～

令和８年度 第３弾

生産計画と工程管理

コース番号：004-056

開催日時：2027年 2月2日(火) 9：30～16：30（６時間）

募集締切：1月19日(火)

受講料 3,300円（税込）

開催場所：ポリテクセンター山梨（裏図参照）

定　　員：16名程度（先着順）

推 奨 者：中堅層

コースの狙い

多品種少量化や短納期化など、顧客の多様なニーズに適した生産計画の策定を目指して、工程管理に必要な視点、生産計画・統制への柔軟な取り組み方について理解し、自社の納期管理を見直していくためのポイントを習得します。

実施機関＆講師

株式会社Ｔ．Ｍ．Ａ．
代表取締役
シニアコンサルタント
菅原 満巳氏



講師Profile

トヨタ生産方式の生みの親である大野耐一氏の薫陶を受けた前代表取締役 菅原茂比古に従事し、TPSを基盤とした現場改善・人材育成の指導に従事。
「人を尊重するための徹底的ムダ排除」を軸に製造・間接部門の改善・人材育成支援に長年従事。
現場改善のコンサルタントとして活躍中。

主な訓練内容

◎ **工程管理の考え方**

(1) 現場とは あらゆる課題が「現」れる「場」所
・現場とは　・あらゆる課題とは　・現状とあるべき姿
・現場ハッピー　「ハ」「ヒ」「フ」「ヘ」「ホ」
・What　Ｗｈｙ　How　目的と必要性、そして方法

(2) ものづくりの流れと基本的なしくみ
《トヨタ生産方式１》　・企業存続の為に　・トヨタグループが進める２つの活動　[リードタイムの短縮／１人工の追求]

(3) 生産性向上のための仕組みづくり
・生産計画の目的　・利益計画に繋がる工程管理の為の各部門の役割は何かを考えます。

(4) すべてのベースとなる５Ｓ
生産活動に直接的な影響を及ぼす重要な要素である５Ｓを演習を取り入れながら、「５Ｓの必要性」を理解します。
【５Ｓワークショップ】　用意したワークを使って、なぜ５Ｓが必要かを気づき・発見・体得します。

(5) モノの造り方によって発生するムダ
《トヨタ生産方式２》　・見えるムダと見えにくいムダ
【ワークショップ】「見えにくいムダ」ムダ発見！
事例研究：平準化／ジャスト・インタイム／自働化／目で見る管理の道具「アンドン」「かんばん」

(6) 現場改善の第一歩は現状分析　～ありのままを現状調査する～　現状把握・問題点の抽出

◎ **生産計画の立案と作成手順**

(1) 改善の進め方
「何をなぜ」改善するのかを明確に　・作業改善　・生産の仕組み改善

(2) 標準作業
人と機械設備の仕事の組合せによりもっとも効率的に生産を行うやり方
・標準作業の３要素（タクトタイム、作業順序、標準手持ち）について理解します。
【演習】標準作業三票の作成　工程別能力表／標準作業組合せ票／標準作業票

(3) 工程の改善
①検査工程の改善と品質　全数検査と抜き取り検査／検査で不良は減らない／検査方式
②停滞の改善　工程待ちの改善／ロット待ちの改善　ドット流しから１個流しへ　**【演習】１個流し**

(4) 生産計画と生産システム
・生産計画と生産システム　生産計画の目的／工数低減／生産システム
【グループワーク】今日の学びで気づいたこと　**【質疑応答】**

○ *訓練内容のココがポイント！*

工程管理の考え方は、生産が標準通りに行われているかを管理することです。管理をするためには、明確な標準がなければなりません。
そのためにはまず「ものづくりの流れ」や「生産方式」を正しく理解し、現状を的確に把握して課題を捉える力を養うことが重要です。
こうした基礎が、多品種少量生産やリードタイム短縮など、変化するニーズに柔軟に対応できる視点につながります。
本カリキュラムでは、こうした基礎理解を踏まえ、最適な工程管理や生産計画を立案できる実践的な知識を習得していただくことをポイントとしています。また、単なる知識に留まらず、演習や他社の方々とのグループワークを通して、現場で直面しやすい例題などを共有しながら学べるよう工夫しています。

生産性向上支援訓練の「マイページ」サービスが始まりました。
企業（事業所）をマイページに登録すると、生産性訓練の申し込み等をＷｅｂから行うことができます。
マイページURL https://mypg.tds.jeed.go.jp/
マイページの詳細、お申し込みはこちらから

どちらからでも申込可

ポリテク山梨のＨＰ内に、ＰＣ（Excel）で入力できる受講申込書の様式データがありますので、受講申込書に必要事項をご入力の上、メール又はＦＡＸでお申し込み下さい。